

学校名	川越市立古谷小学校
所在地	川越市古谷上5465
電話	049-235-0193

1 本校の概要

本校は、川越の市街地からは離れており、伊佐沼の東側に位置している。児童数は470名で、学級数19の中規模校である。田園に囲まれた静かな環境であり、児童は素直で子供らしい児童が多い。また、地域で子供を育てようとする行事などが多く、3年生では「ハスの会」と連携してハスを育てたり、5年生では「農事組合法人沼端」と連携して米作りを行ったりしている。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組

(2) 実践の概要

ア 読書月間の取組

- ・図書委員会のイベント

「読書ビンゴ」というイベントを行った。ビンゴカードを各児童に用意した。枠には「絵本」や「物語」、「図鑑」など、本の種類を書いておき、児童は自分が読んだ本が当てはまる枠をぬる。ビンゴした児童には図書委員会の児童が作った折り紙やしおりなどの景品を渡した。

1枚目のビンゴの時はしおりを選んで渡した。2枚目以降のビンゴの時はしおりもしくは折り紙を選んで渡した。

- ・先生のお薦めの本の紹介

先生方に子供に読んでほしい本を1冊選んでもらい、カードの形にした後、学校図書館前に掲示して紹介した。



イ 公立図書館との連携

出張ブックトーク

- ・日時 10月1日(金)
- ・対象学年 第3学年
- ・実施時間 クラス単位で1時間



ウ 読み聞かせボランティア「アップル」との連携

- ・1ヶ月に1、2回の読み聞かせ
業間休みにボランティアの方が読み聞かせを実施した。
- ・大型絵本を使つての全校への読み聞かせ
新型コロナウイルス感染症の影響で一所に全校児童が集まらなかったため、クロームブックを活用し、体育館から全校へ生中継するという形で行った。

エ 廃棄図書の整理

図書委員会の児童に協力してもらい、廃棄図書を整理することが出来た。それにより、3棟の棚にスペースがで、学級で使う棚として活用できるようになった。

3 成果と今後の課題

(1) 成果

- ・全職員、図書委員会の児童の協力のもと、読書月間に取り組むことができた。10月の図書の貸出冊数は1,451冊であった。
- ・2学期の図書の貸出冊数は4,773冊で、昨年度の4,064冊より709冊増えている。(9月は分散登校で貸し出していなかったので含まない。)
- ・図書委員会の児童が積極的に活動する姿が見られた。
- ・クロームブックを使って全校に放送するという試みを実行することができた。

(2) 課題

- ・貸出冊数の向上を目指したい。
- ・学校図書館を学習センター・情報センターとして活用できるよう、掲示やコーナーなどを工夫していく。
- ・児童の学校図書館の利用の仕方が、ルールを守れていない部分が多くあるので、周知の方法などを考えていく。
- ・感染症対策をしながらの読書活動の推進が難しいことを実感しているが、新たな方法を模索する。